

# 安全データシート

改訂3版 2025年4月1日  
(2015年4月1日制定)

## 1. 製品及び会社情報：鋼材(鉄筋コンクリート用棒鋼)

製品名 熱間圧延棒鋼  
・JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材  
・JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼  
・JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼  
・JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材  
・JIS G 4052 焼入性を保証した構造用鋼鋼材(H鋼)  
・JIS G 4053 機械構造用合金鋼鋼材

会社名 朝日工業株式会社

本社  
住所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル  
電話番号 03-3988-2555 FAX番号 03-5396-7500

埼玉工場  
住所 〒367-0301 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
担当部門 埼玉工場 品質管理室  
電話番号 0274-52-5901 FAX番号 0274-52-6460  
緊急連絡先 埼玉工場 品質管理室

## 2. 危険有害性の要約

鋼材は鉄(Fe)をベースに合金元素を添加した化学的に安定した物質である。  
但し、溶接、溶断、研磨、切削等の加工による、ヒューム、ダスト等は呼吸器、目他の粘膜を刺激する可能性がある。  
GHS分類 : 分類基準に該当しない。

GHS : Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals  
(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

## 3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分 : 混合物(鉄基合金)  
成分及び含有量 : 下表のとおりです。Mnについては鋼材検査証明書に記載  
CAS番号・ICSC番号・化管法番号・安衛法番号

|           | 鉄[Fe]     | マンガン[Mn]  | 銅[Cu]     | ニッケル[Ni]  | クロム[Cr]   | モリブデン[Mo] | バナジウム[V]  |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 含有量(質量%)  | 99以下      | 2.0未満     | 1.0未満     | 1.0未満     | 1.5未満     | 1.0未満     | 1.0未満     |
| CAS番号     | 7439-89-6 | 7439-96-5 | 7440-50-8 | 7440-02-0 | 7440-47-3 | 7439-98-7 | 7440-62-2 |
| ICSC番号    | -         | 0174      | 0240      | 0062      | 0029      | 1003      | -         |
| 化管法*1政令番号 | -         | 1種 465    | -         | 1種 354    | 1種 111    | 1種 505    | 1種 363    |
| 安衛法*2政令番号 | -         | 550       | 379       | 418       | 142       | 603       | -         |

注1) 成分の含有量は上表の範囲において製品の規格、種類によって異なる。

注2) 上表の成分の他に、珪素[Si]、燐[P]、硫黄[S]等の微量元素を含む。

\*1 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

\*2 労働安全衛生法

CAS : Chemical Abstracts Service(化学物質登録システム)

ICSC : International Chemical Safety Cards(国際化学物質安全性カード)

## 4. 応急措置

吸入した場合:ダスト、ヒューム等を吸入した場合、呼吸補助を行い医師の診断を受ける。  
皮膚に付着した場合:ダスト・ヒューム等が皮膚に付着した場合、速やかに水と石鹼で洗浄する。  
目に入った場合:ダスト、ヒューム等が目に入った場合、清浄な流水で洗眼し眼科医の診察を受ける。  
飲み込んだ場合:ダスト、ヒュームを飲み込んだ場合、多量の水を摂取し口をすすぐ。

## 5. 火災時の措置

鉄(Fe)をベースに合金元素を添加した化学的に安定した物質であり、該当事項なし。  
適切な消火剤:特に指定なし  
使ってはならない消火剤:特になし

## 6. 漏出時の措置

常態は固体で化学的に安定した物質であり、該当事項なし。  
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

鋼材切断面、切削屑等による皮膚の裂傷防止、溶接、溶断等のアークによる火傷防止のため手袋を着用する。ダスト、ヒューム類が発生する作業においては吸引防止のため適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項:切断・研磨等により発生した粉塵類は速やかに回収する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和などの浄化の方法及び機材等:

溶接・溶断・研磨等により発生したダスト、ヒューム類は掃除機等で回収することが望ましい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項:重量物のため、荷崩れ、落下に注意する。

切断端部・切削くずは接触により皮膚や目を傷つけることがあるので保護手袋、保護メガネ等の保護具を着用する。溶接・溶断および研磨等の加工時にダスト、ヒューム類の吸引防止のため、保護具を着用する。

保管上の注意事項:重量物で安定性が悪いので荷崩れなきよう固定すること。

雨や水分が掛からないように保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

常態では固体であり、化学的に安定した物質である。

但し、溶接、溶断、研磨、切削等加工される時は、ヒューム、ダスト等にばく露しないよう適切に保護すること。また、溶接アークに対し、マスク、メガネ、手袋等で防護する。また、適切な換気により作業環境を確保する。

## 9. 物理的及び化学的性質

化学品の外観:一般的な環境下では銀白色の固体

臭い:

融点、凝固点: 融点: 1,440~1,535℃

沸点、初留点及び沸騰範囲:

引火点、自然発火温度

燃焼又は爆発範囲の上限、下限:

蒸気圧、蒸気密度

比重(相対密度):約 7.85g/cm<sup>3</sup>

溶解度:

## 10. 安定性及び反応性

避けるべき条件:高温多湿雰囲気。混触危険物質との接触

混触危険物質:強酸、強アルカリ

危険有害な分解生成物:溶接、溶断、研磨加工時などにヒューム等が発生する。

その他:爆発性、高压ガス、引火性、可燃性、自然発火性、酸化性の危険該当事項なし。

## 11. 有害性情報

急性毒性  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性  
呼吸器感作性又は皮膚感作性  
生殖細胞変異原性  
発がん性  
生殖毒性  
特定標的臓器毒性、単回ばく露  
特定標的臓器毒性、反復ばく露  
吸引性呼吸器有害性

上記項目について、人に対しての鋼材としての有害性に関する有用な情報は現在のところなし。  
但し、合金元素単体での危険有害物質があるので2. 項の但し書きの様な加工作業でヒュームがある濃度を超える場合には有害性を指摘される場合がある。

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
残留性・分解性  
生態蓄積性  
土壌中の移動性  
オゾン層有害性

上記項目について鋼材としての環境影響情報は現在のところなし。  
但し、合金元素単体としては環境影響が指摘されている場合がある。

## 13. 廃棄上の注意

鉄スクラップとして専門業者にて処理すること。

## 14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制はない。  
重量物で安定性が悪いので、荷崩れなきよう固定すること。  
雨や水分が掛からないように保護することが望ましい。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法, 化学物質管理促進法

## 16. その他の情報

参考文献：化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会編)  
産業医学(日本産業衛生学会)

記載内容の問い合わせ先：朝日工業株式会社

埼玉工場 品質管理室

電話番号：0274-52-5901 FAX番号：0274-52-6460

注)

本安全データシートは化学的に安定な取扱いを確保するための「参考情報」として提供するものです。

当該製品を取り扱う事業者はこれを参考にして、自らの責任において取扱い及び加工内容の実態に応じた適切な処置を講じて下さい。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。